

平成 17 年 9 月 29 日
電源開発株式会社

磯子火力発電所 新 2 号機の建設工事開始について

～環境と景観に配慮した都市部の最新鋭石炭火力発電所～

電源開発株式会社（社長：中垣喜彦、以下「Jパワー」）は 10 月より磯子火力発電所 新 2 号機の建設工事を始めます。

磯子火力発電所（横浜市磯子区）は、昭和 40 年代から 30 年以上にわたり運転しておりましたが、横浜市の環境改善計画への対応、首都圏を中心とした地域への電力供給の安定性・信頼性向上、設備の老朽化への対応を目的として更新工事を進めております。

更新工事は、旧発電所（発電出力 26.5 万 kW × 2、計 53 万 kW）を運転しながら、新 1 号機（発電出力 60 万 kW）を建設し、その後旧発電所を撤去して新 2 号機（発電出力 60 万 kW、新 1・2 号機計 120 万 kW）を建設するものです。



新 1 号機は、電力供給維持のため、旧発電所を運転しながら平成 10 年に着工し、平成 14 年から営業運転を始めております。新 2 号機は、来月 10 月 1 日より建設工事を始め、平成 21 年 7 月に営業運転を開始します。

磯子火力発電所は、日本で初めて地方自治体と公害防止協定を締結し、環境保全に力を入れてきました。今回の更新工事にあたっては、出力を倍増させながらも超々臨界圧（USC）技術を導入して熱効率を世界最高の水準まで上げ、更に最新の環境対策設備を導入したことにより窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、ばいじんの排出量を旧発電所と比べて大幅に低減します。

また、都市部に位置し、付近に景勝地である三溪園があることを踏まえ、新号機は機器の配置や形状、色彩にも工夫を凝らしており、平成 14 年には第 17 回公共の色彩賞（公共の色彩を考える会）を受賞しております。

Jパワーは全国に 7 地点の石炭火力発電所を保有し、その設備出力は国内第 1 位（781 万 kW、約 21%）となっております。Jパワーは、石炭火力発電のリーディングカンパニーとして、最先端の技術を開発し、環境負荷を最小限に抑え、エネルギーと環境の共生を図っていきます。

以上

[磯子火力発電所 新 1 号機・2 号機の概要]

	新 1 号機	新 2 号機
設置場所	神奈川県横浜市磯子区	
設備出力	60 万 kW	60 万 kW
使用燃料	石炭（国内炭および輸入炭）	
着工（工事開始）	平成 10 年 7 月	平成 17 年 10 月（予定）
営業運転開始	平成 14 年 4 月	平成 21 年 7 月（予定）